

麻生菊花会 第一回講習会

日時 令和6年3月14日

場所 麻生区役所 4F 会議室

講師 境 幸夫

苗の入手 苗の入手は生産者から購入、前年度の親株の冬至芽を挿し芽で増やす。

挿し芽（箱挿）

挿し芽時期 挿し芽時期は最近早まる傾向にあります（4月初旬）

短幹種 4月20日（兼六香菊）

中幹種 4月25日（国華金山）

長幹種 4月30日（国華横綱）

挿し芽用土 鹿沼土（細粒）：パーミュキュライト： 燻炭

混合比率 1：1：1

挿し芽の方法

前年の親株から伸びた冬至芽を、挿し芽をする30日～40日前に摘芯する、摘芯前に勢い付ける為液肥を与え、伸びた芽を7cm位で切り挿し芽をする。

挿し芽の徒長を防ぐため、採穂の1週間前にビーナイン（700～1000倍）を芽先に散布

水揚

7cm位で切り採った挿し芽を活力剤（メネデル、オキシベロン、ウルトラキング）液につけておく（メネデルは100倍液、オキシベロンは5%液を1時間～半日）

ダンゴ挿し

挿し穂の下1cm位を歯ブラシで軽く擦り、発根剤（ルートン、オキシベロン）を混ぜた鹿沼土の粉或はトノコを水で練った液に付け、さらにトノコの粉につけ団子状にして挿し芽をする。

挿し穂の切り口にルートンを付けて、そのまま挿し芽をする方法もあります。

冷蔵処理

挿し穂を10cm位に切って、新聞紙、ビニール袋に入れ冷蔵庫の野菜室で二週間保管後上記の挿し芽の方法で挿し芽をする。

差し床

育苗箱に挿し芽用土を5 cm位入れて、5 cm間隔で挿し芽をする。

挿し芽後の管理

挿し芽に灌水したら、新聞紙2枚位で覆い日陰に置く

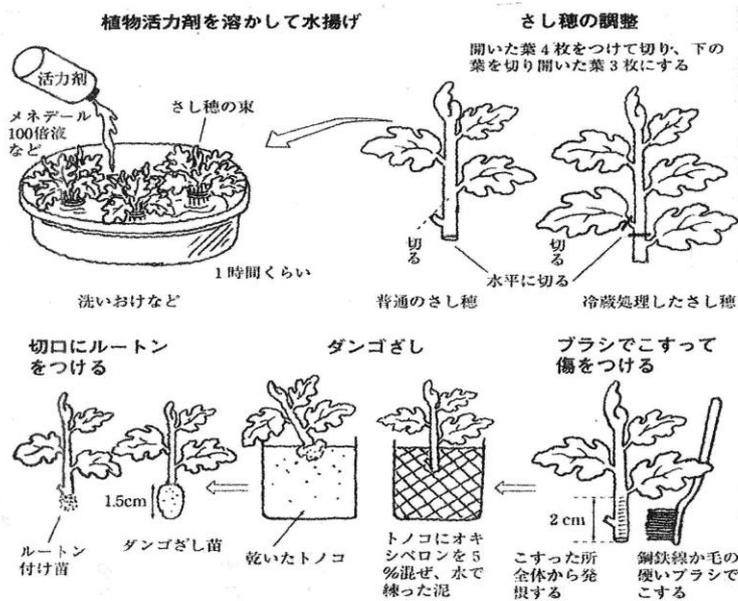
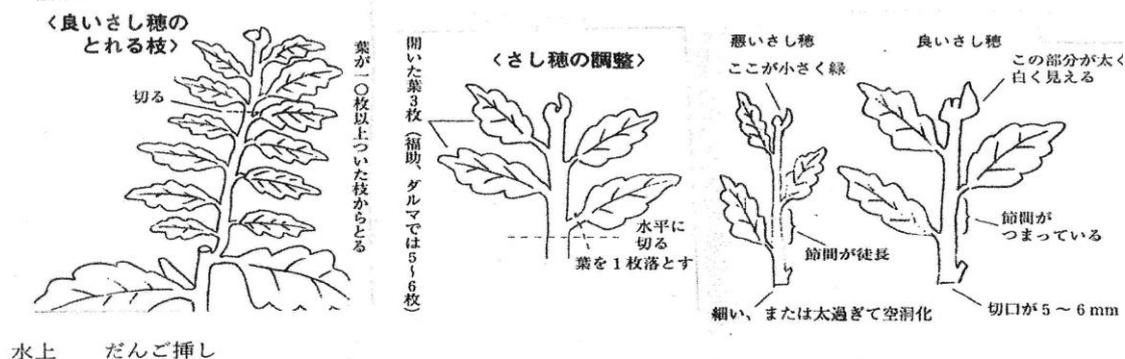
挿し芽後10日間は灌水をしない

5日目くらいから徐々に日光に慣らす。

挿し穂

挿し穂は太さ 5mm位で、挿し芽する 30日~40日前に摘芯して伸びた枝から採穂する

挿し穂の採取



冷蔵処理

